

三菱造船所 占勝閣（指定番号：第 14 号）



写真提供：三菱重工業(株)長崎造船所

所在地：長崎市岩瀬道町 139

概要：長崎造船所 2 代目所長の荘田平五郎の邸宅として建築された。

木造 2 階建洋館及び庭園。迎賓館として、進水式・引渡式の祝賀会、貴賓の接待等に使用。

＜建 築 年＞1904 年（明治 37 年）

＜指定範囲＞A＝4,100 m²

＜仕 様 等＞・洋風木造 2 階建

・屋根…和瓦

・設計者 曾禰達蔵

指定理由：

- ・ 2 代目長崎造船所所長の邸宅として明治 37 年に竣工。翌年、東伏見宮依仁親王が宿泊された際に「風光景勝を占める」という意味で占勝閣と命名されたという歴史を持つ。
- ・ ベランダや尖塔などが特徴的な地上二階建ての洋風木造建築物である。
- ・ 周囲の庭園や樹木は、創建当時の状態が保たれており、現在に至るまで迎賓館として活用されている。

その他：2013 第 18 回長崎市都市景観賞「歴史のある部門」受賞

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産